

教育・啓発の内容について

質問9 人権・同和教育について、あなたが学習したいという内容について、あてはまるものを選んでください。(3つ以内)

- 1 部落問題について。
- 2 障がいのある人の人権問題について。
- 3 女性の人権問題について。
- 4 在住外国人の人権問題について。
- 5 子どもの人権問題について。
- 6 高齢者の人権問題について。

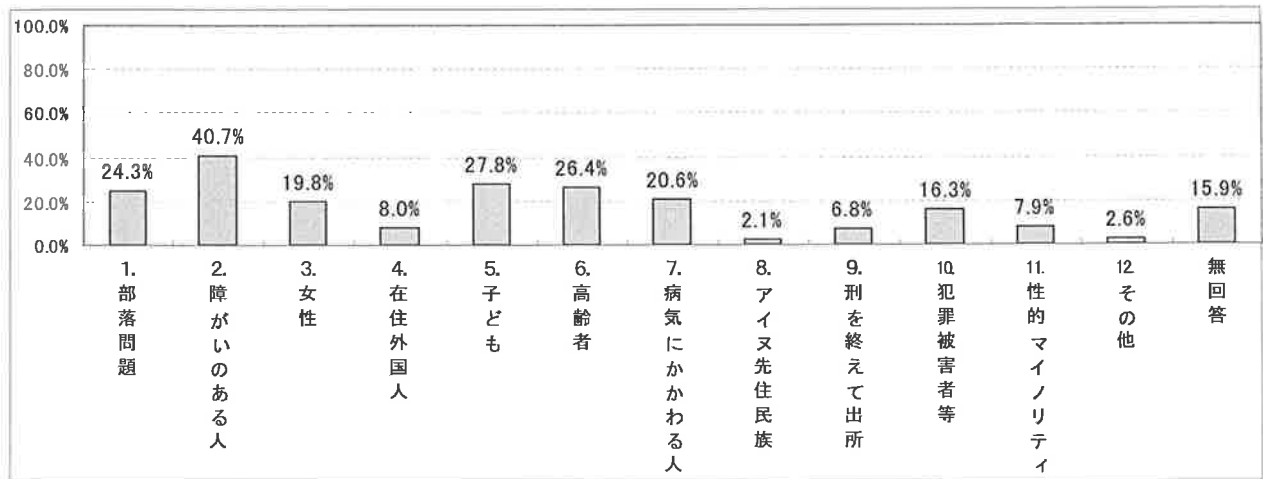
- 7 病気にかかわる人の人権問題について。
- 8 アイヌ先住民族の人権問題について。
- 9 刑を終えて出所した人の人権問題について。
- 10 犯罪被害者やその家族の人権問題について。
- 11 性同一障がいのある人や同性愛者等の性的マイノリティ(少数者)の人権問題について。
- 12 その他

この質問は、今後、学習したいと思う内容について複数回答(3つ以内)で問うている。

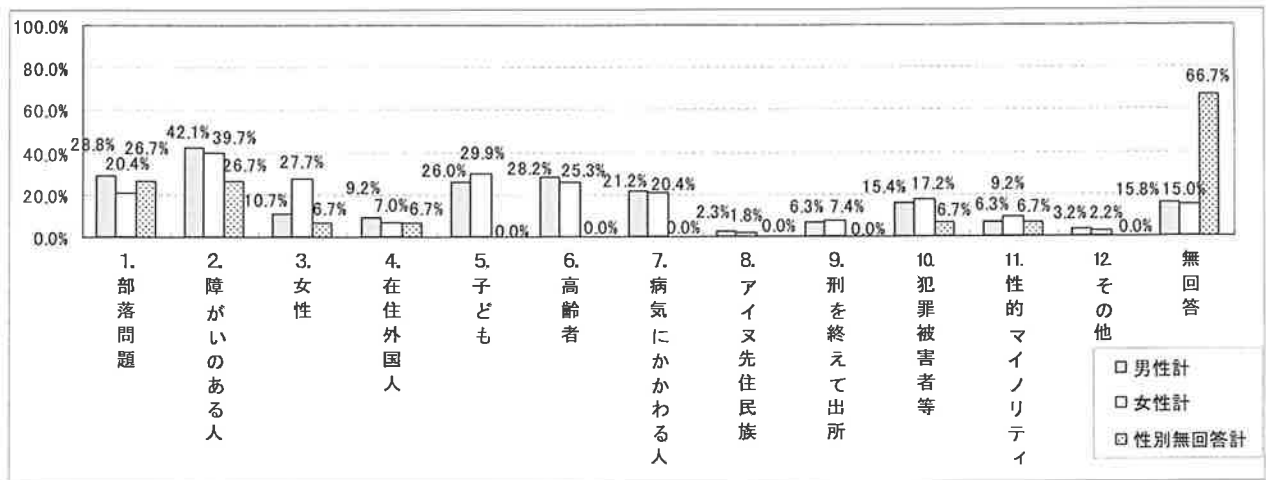
質問9		1. 部落問題		2. 障がいのある人		3. 女性		4. 在住外国人		5. 子ども		6. 高齢者	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
20才代	男	33	35.1%	37	39.4%	14	14.9%	9	9.6%	26	27.7%	14	14.9%
	女	17	15.7%	52	48.1%	43	39.8%	14	13.0%	24	22.2%	18	16.7%
	計	50	24.8%	89	44.1%	57	28.2%	23	11.4%	50	24.8%	32	15.8%
30才代	男	28	25.0%	43	38.4%	7	6.3%	13	11.6%	39	34.8%	14	12.5%
	女	30	22.6%	49	36.8%	32	24.1%	9	6.8%	50	37.6%	14	10.5%
	計	58	23.7%	92	37.6%	39	15.9%	22	9.0%	89	36.3%	28	11.4%
40才代	男	33	28.4%	64	55.2%	14	12.1%	12	10.3%	39	33.6%	25	21.6%
	女	44	29.5%	62	41.6%	44	29.5%	12	8.1%	58	38.9%	19	12.8%
	無回答	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
	計	78	29.3%	126	47.4%	58	21.8%	25	9.4%	97	36.5%	44	16.5%
50才代	男	37	29.6%	65	52.0%	13	10.4%	16	12.8%	25	20.0%	35	28.0%
	女	27	18.0%	64	42.7%	50	33.3%	14	9.3%	45	30.0%	39	26.0%
	計	64	23.3%	129	46.9%	63	22.9%	30	10.9%	70	25.5%	74	26.9%
60才代	男	34	27.0%	44	34.9%	13	10.3%	7	5.6%	29	23.0%	43	34.1%
	女	31	20.7%	64	42.7%	40	26.7%	6	4.0%	42	28.0%	65	43.3%
	計	65	23.6%	108	39.1%	53	19.2%	13	4.7%	71	25.7%	108	39.1%
70才以上	男	32	28.8%	35	31.5%	12	10.8%	6	5.4%	20	18.0%	62	55.9%
	女	17	13.8%	32	26.0%	16	13.0%	2	1.6%	24	19.5%	51	41.5%
	計	49	20.9%	67	28.6%	28	12.0%	8	3.4%	44	18.8%	113	48.3%
年代性別無回答		3	21.4%	4	28.6%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	男性計	197	28.8%	288	42.1%	73	10.7%	63	9.2%	178	26.0%	193	28.2%
	女性計	166	20.4%	323	39.7%	225	27.7%	57	7.0%	243	29.9%	206	25.3%
	性別無回答計	4	26.7%	4	26.7%	1	6.7%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%
	合計	367	24.3%	615	40.7%	299	19.8%	121	8.0%	421	27.8%	399	26.4%

	7. 病気にかかわる人		8. アイヌ先住民族		9. 刑を終えて出所		10. 犯罪被害者等		11. 性的マイノリティ		12. その他		無回答	回答者数	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合			
	15	16.0%	1	1.1%	7	7.4%	14	14.9%	12	12.8%	5	5.3%	15	16.0%	94
	25	23.1%	2	1.9%	11	10.2%	21	19.4%	23	21.3%	3	2.8%	8	7.4%	108
	40	19.8%	3	1.5%	18	8.9%	35	17.3%	35	17.3%	8	4.0%	23	11.4%	202
	24	21.4%	2	1.8%	15	13.4%	20	17.9%	13	11.6%	4	3.6%	16	14.3%	112
	34	25.6%	5	3.8%	6	4.5%	17	12.8%	22	16.5%	3	2.3%	20	15.0%	133
	58	23.7%	7	2.9%	21	8.6%	37	15.1%	35	14.3%	7	2.9%	36	14.7%	245
	28	24.1%	2	1.7%	6	5.2%	22	19.0%	11	9.5%	2	1.7%	13	11.2%	116
	30	20.1%	1	0.7%	13	8.7%	31	20.8%	15	10.1%	4	2.7%	12	8.1%	149
	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1
	58	21.8%	3	1.1%	19	7.1%	53	19.9%	27	10.2%	6	2.3%	25	9.4%	266
	28	22.4%	6	4.8%	7	5.6%	23	18.4%	6	4.8%	4	3.2%	13	10.4%	125
	29	19.3%	6	4.0%	12	8.0%	37	24.7%	10	6.7%	2	1.3%	19	12.7%	150
	57	20.7%	12	4.4%	19	6.9%	60	21.8%	16	5.8%	6	2.2%	32	11.6%	275
	29	23.0%	3	2.4%	4	3.2%	16	12.7%	0	0.0%	4	3.2%	30	23.8%	126
	26	17.3%	0	0.0%	13	8.7%	25	16.7%	1	0.7%	2	1.3%	25	16.7%	150
	55	19.9%	3	1.1%	17	6.2%	41	14.9%	1	0.4%	6	2.2%	55	19.9%	276
	21	18.9%	2	1.8%	4	3.6%	10	9.0%	1	0.9%	3	2.7%	21	18.9%	111
	22	17.9%	1	0.8%	5	4.1%	9	7.3%	4	3.3%	4	3.3%	38	30.9%	123
	43	18.4%	3	1.3%	9	3.8%	19	8.1%	5	2.1%	7	3.0%	59	25.2%	234
	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	10	71.4%	14
	145	21.2%	16	2.3%	43	6.3%	105	15.4%	43	6.3%	22	3.2%	108	15.8%	684
	166	20.4%	15	1.8%	60	7.4%	140	17.2%	75	9.2%	18	2.2%	122	15.0%	813
	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	1	6.7%	0	0.0%	10	66.7%	15
	311	20.6%	31	2.1%	103	6.8%	246	16.3%	119	7.9%	40	2.6%	240	15.9%	1,512

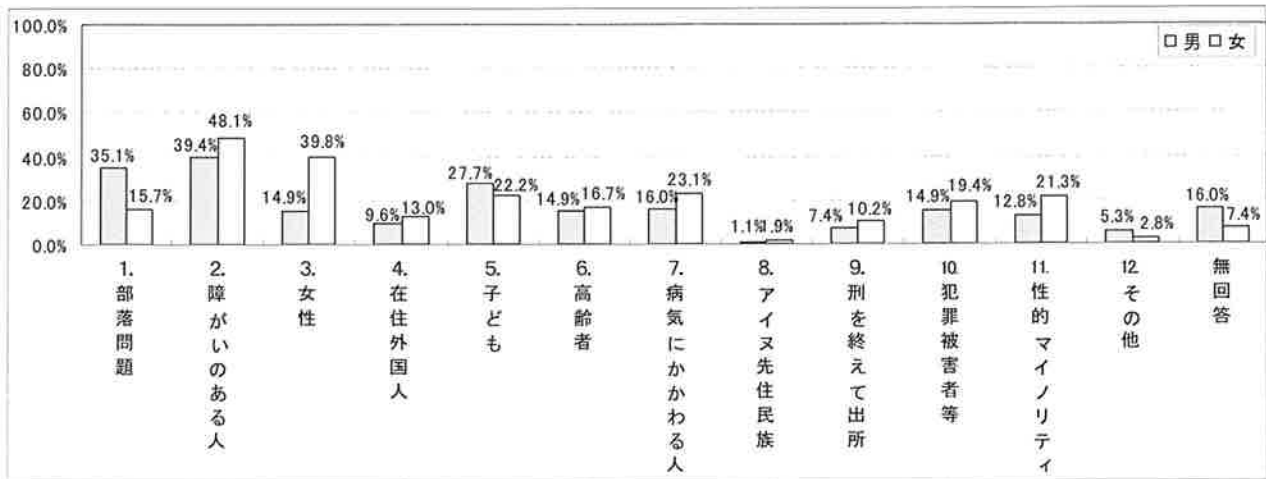
全体



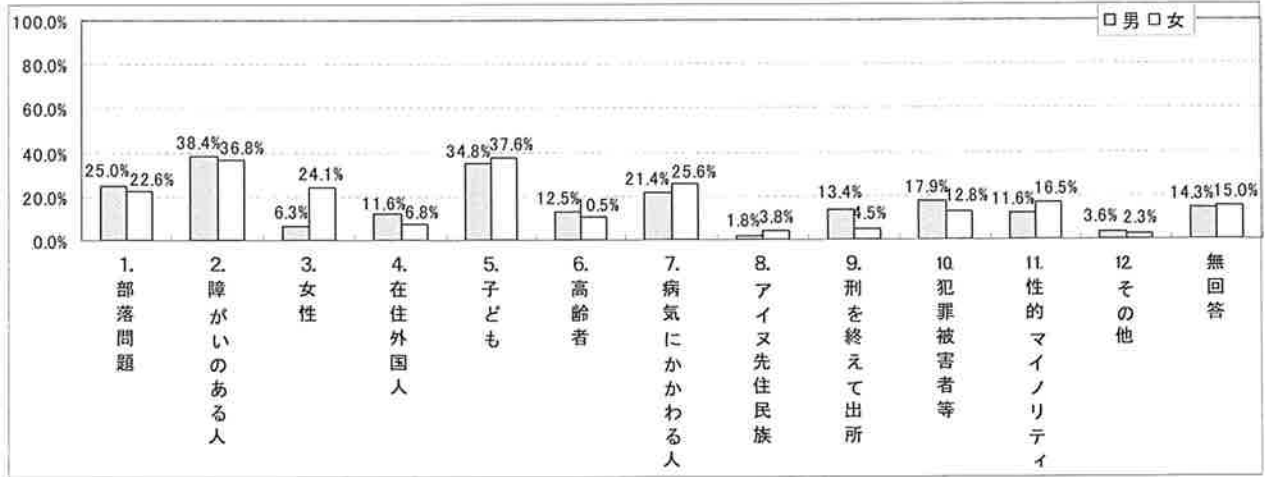
男女別全体



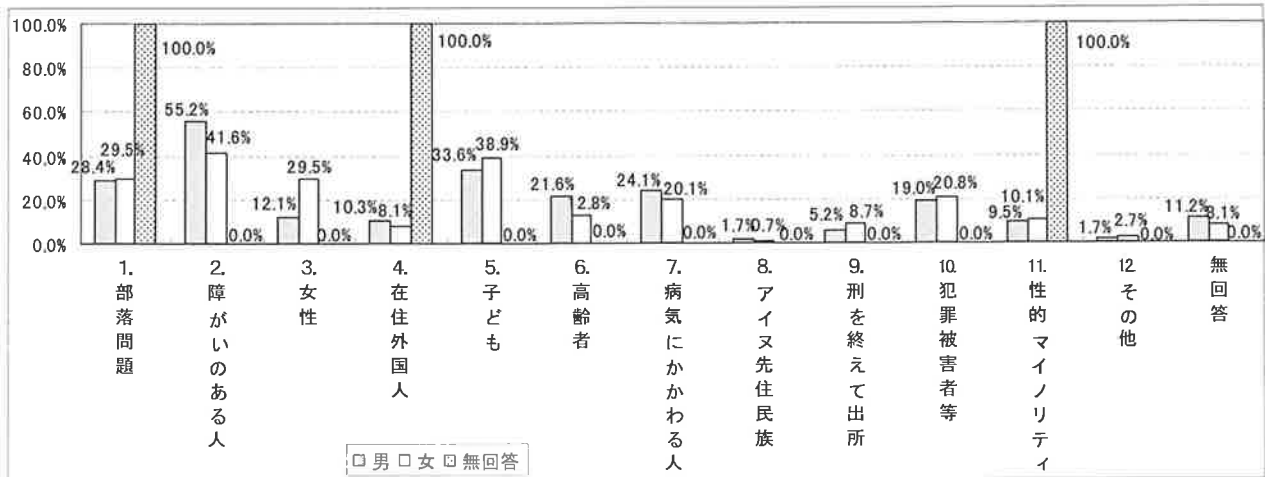
20才代



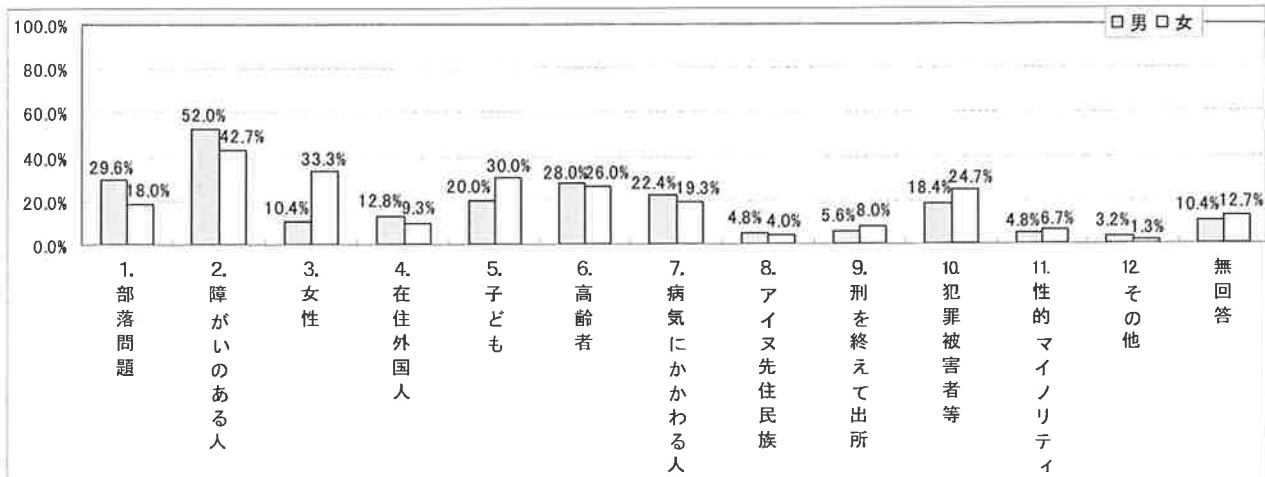
### 30才代



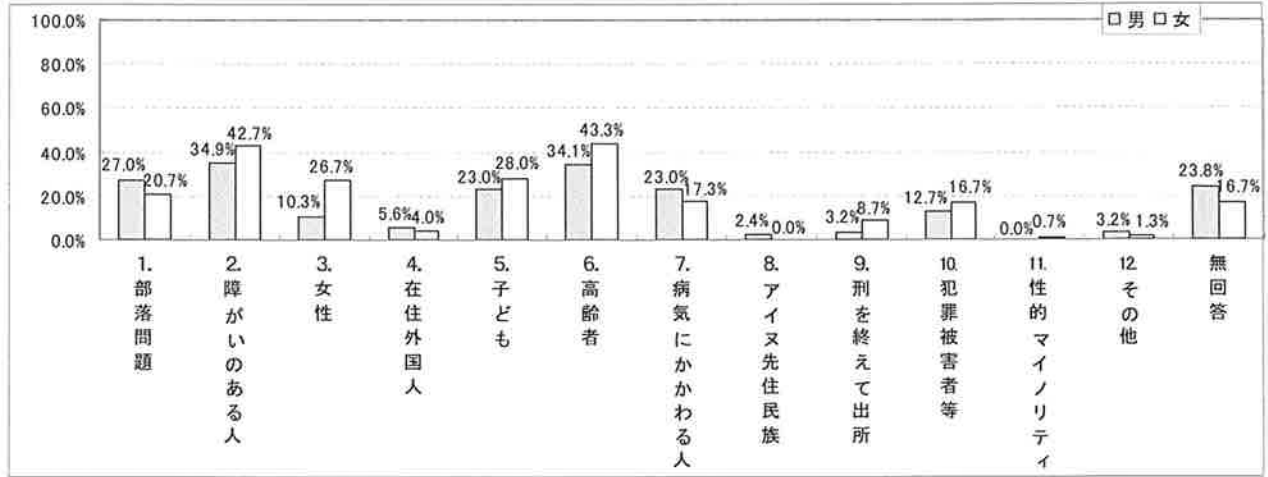
### 40才代



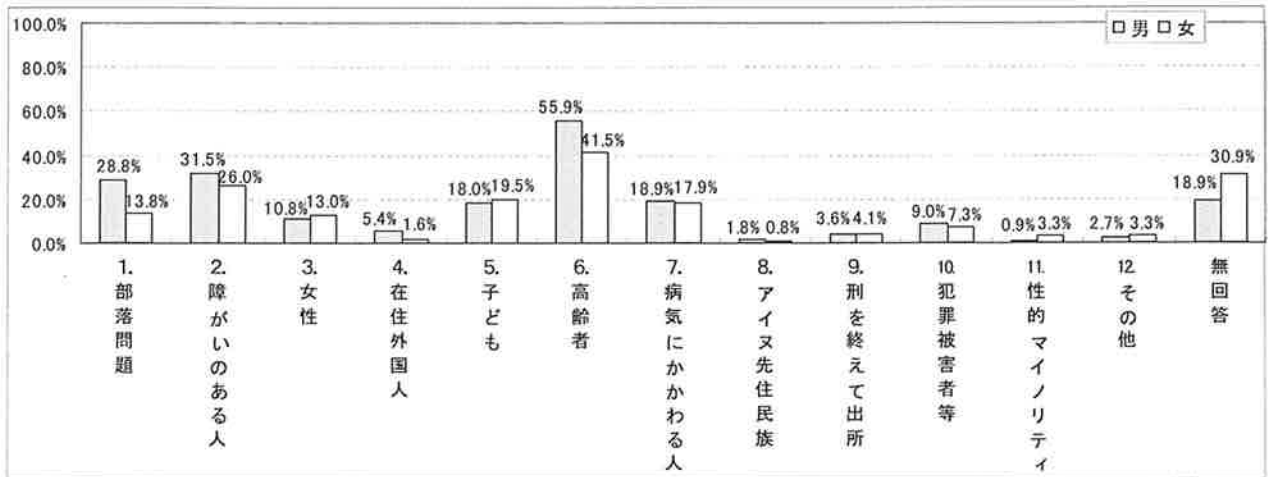
### 50才代



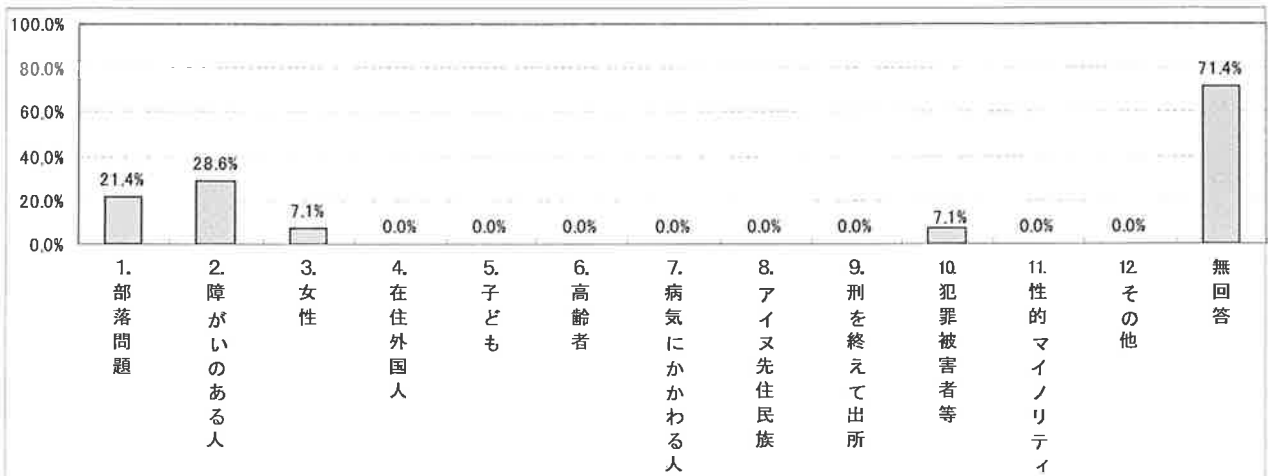
### 60才代



### 70才以上



### 年代性別無回答



### <分析>

- 全体では、「障がいのある人」40.7%が最も高く、「子ども」、「高齢者」、「部落問題」、「病気にかかわる人」、「女性の人権」、「犯罪被害者やその家族」、「無回答」、「在住外国人」、「性的マイノリティ」、「刑を終えて出所した人」、「その他」、「アイヌ先住民族」の順である。
- 年代別では、次のような傾向がみられる。
  - ・ 20才代～60才代は、「障がいのある人」が最も高く、特に40才代、50才代が高い。30才代はわずかな差で「子ども」、60才代は同率で「高齢者」が並ぶ。70才以上は「高齢者」が突出している。
  - ・ 40才代は「子ども」が36.5%で、各年代で最も高い。さらに「部落問題」、「女性の人権」、「病気にかかわる人」、「犯罪被害者やその家族」と、学習ニーズが多岐にわたる。
  - ・ 50才代は「高齢者」が26.9%で、40才代以下より10ポイント以上高くなる。また、「犯罪被害者やその家族」が各年代で最も高い。学習ニーズは40才代よりもさらに広がっている。
- 男女別では、どちらも「障がいのある人」が最も高いが、「部落問題」については男性が28.8%で、女性を8.4ポイント上回る。一方、「女性の人権」は女性が27.7%で、男性を17.0ポイント上回る。他の回答項目の割合に大きな差はない。
- 年代男女別では、次のような傾向がみられる。
  - ・ 20才代では、男女とも「障がいのある人」が最も高い。次いで、女性は「女性の人権」が男性より約25ポイント高く、男性は「部落問題」が女性より約19ポイント高い。
  - ・ 30才代は、男女差がほとんどなく、「障がいのある人」、「子ども」が高い。
  - ・ 40才代は、「障がいのある人」が高く、特に男性は55.2%と年代男女中最も高い。次いで「子ども」、「部落問題」が続く。
  - ・ 50才代は、「障がいのある人」が高い。男性は次いで「部落問題」、「高齢者」、女性は「女性の人権」、「子ども」が高くなっており、男女差が大きい。特に、「女性の人権」では、女性33.3%に対し、男性10.4%で、約23ポイントの差がある。
  - ・ 60才代は、「障がいのある人」と「高齢者」が主だが、いずれも女性の方が8～9ポイント高い。男性は次いで「部落問題」、女性は「子ども」が高い。
  - ・ 70才以上は男女とも「高齢者」が顕著に高く、次に「障がいのある人」が続くが、いずれも女性より男性の割合が高い。また、「部落問題」は、男性は他の年代と大きな差はないが、女性は13.8%と年代男女中最も低い。

### 【考察】

- ◎ 「子どもの人権問題」についてはPTA世代、「高齢者の人権問題」については高齢世代が、自分と関わりの深い問題として捉えているため、高くなっていると思われる。  
「女性の人権」については、全体、特に20才代～60才代においては、男女の差が大きく、課題だといえる。